

令和3年度 第3学年 授業改善推進プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題 (思・判・表または、態)	・重点をおく単元、 カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な方策 ※課：課題 発：発問・指示・板書 教：教材の工夫 他：その他
国語	<p><b>思・判・表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、叙述を基に、登場人物の行動や気持ち、筆者の考えや事例を捉えることに課題がある。</li> <li>・「書くこと」において、内容の中心が明確にすること、相手や目的を意識した表現を選ぶことに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆／食べ物のみつ教えます」</li> <li>・「三年とうげ」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発・筆者の考えや事例、場面の様子、登場人物の言動や様子などを表す語句に着目して読む型（ラインを引く、ノート書き方をそろえる）を決め、捉える内容を分かりやすくする。</li> <li>発・組み立てメモや付箋紙を活用し、書くことを明確にしたり、相手や目的を意識できるようにしたりする。</li> <li>他・積極的に読書の時間を確保したり、読書記録をつけたりして、読書に慣れ親しむ。</li> </ul>
社会	<p><b>思・判・表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料から、社会的事象の特徴や相互の関係を読み取る力、また考える力において課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会「区のうつりかわり」</li> <li>・総合「ふるさとのたから探し」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発・教師が意図した問いにつながる疑問が出るような資料提示の工夫をする。</li> </ul>
算数	<p><b>思・判・表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1学期のワークテストの知識・技能の観点では、時間と時刻を除く全ての単元で平均90%に達した。一方思考・判断・表現の観点では、平均80%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「小数」</li> <li>・「分数」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発・課題提示の際は、デジタル教材や具体物・半具体物を利用して、視覚的・感覚的に問題をイメージできるようにする</li> <li>教・問題解決型学習に向けて、計算の仕方や立式の根拠を、図や算数的用語を用いて、ノートにまとめたり、発表したりする時間を設定する。</li> </ul>
理科	<p><b>態</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然の事物・現象に関心が高く、意欲をもって学習に取り組むが、学んだことを学習や生活に生かそうとすることに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「音」</li> <li>・「光」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発・児童の日常の気付きや願いから学習計画をたてる。そして、学習活動で得た結論を、再び日常の事象や、社会で役立てられている科学的知識に繋がられるようにする。</li> </ul>
音楽	<p><b>思・判・表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を聴いて気付いたことや感じたことを、適切な音楽用語を用いて説明することに課題がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いろいろな音のひびきをかんとろう」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>課発・学習課題が明確になるように〔共通事項〕を絞った学習内容にする。</li> <li>発・〔共通事項〕と音楽用語を適切に使って友達と学習することができるよう、教師が発問で使用する言葉を精選する。</li> </ul>
図工	<p><b>思・判・表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色や形のバランスをじっくりと考えることに課題がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「でこぼこもようのなかまたち」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>発・分かりやすい例示などから、自分のやりたいことを選択したり、参考にしたりして発想をできるようにする。</li> </ul>
体育	<p><b>思・判・表</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自身の課題を見付け、それを解決するための方法や活動を工夫する児童が少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「跳び箱運動」</li> <li>「高跳び」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教・運動を試す時間を多く設定し、学習の見通しがもてるようにする。</li> </ul>